

整形外科後期研修プログラム

年限：5年 募集人数：1名 募集形態：公募 専門医名：整形外科専門医

当院は日本整形外科学会の研修施設であり、また東京女子医科大学の関連病院である。当院および大学、関連施設での研修と、日本整形外科学会の所定の基準を満たせば、医師免許取得6年以上で専門医受験資格が得られる。その他日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医、日本整形外科学会認定スポーツ医、日本整形外科学会認定リウマチ医などの取得が可能である。

プログラム責任者：梅原新英（部長、整形外科）

昭和58年弘前大学卒。平成12年、博士（医学）。東京女子医科大学整形外科学教室入局、昭和60年助手。その後伊勢崎佐波医師会病院、済世会栗橋病院勤務を経て、平成9年より現職。股関節外科、外傷を専門とする。

指導医名

梅原新英

盛田幹（医長、平成9年卒）：整形外科専門医、スポーツ整形外科を専門とする。

また非常勤の金谷幸一（整形外科専門医）が脊椎外科の指導に当たる。

診療科メンバー

上記に加え、東京女子医科大学より医療連士2名、臨床研修医0~1名が研修中である。

一般目標

豊かな人間性、幅広い見識、社会に貢献する使命感と責任感を持つ整形外科医となるために、整形外科に必要な基礎知識、技術を習得し、患者を思いやる暖かな心を身につける。

具体的目標

後期研修5年目に日本整形外科学会専門医資格を取得すること。整形外科診療に必要な検査、処置、麻酔、基本的な手術手技に習熟すること。サブスペシャリティーの確立に向け始動すること。コメディカルと協力しチーム医療を実践できること。患者に病状、治療方針についてわかりやすく説明できること。診療録、診断書などを遅滞なく正確に記載できること。研修期間中最低2回の学会発表、論文執筆を行うこと。

方略

当院は救急医療に力をいれており、骨折など外傷が多く、初期診療から回復診療まで研修することができる。その他、関節外科、スポーツ外傷、脊髄外科などの研修が可能である。整形外科の入院患者数は常時70名を越えており、急性期、亜急性期患者主体であるが、一部慢性期患者（医療療養型入院患者）も含む。手術件数は年間500件以上である。骨折など外傷が約半数を占める。関節手術は110件以上で、うち人工関節は30件以上、膝靭帯形成術は8件で施設基準を突破している。脊椎手術は30件以上である。骨折手術は整形外科の基本手技を学ぶ重要な場であり、一年次より指導医のもとに実践を積む。当院での一貫した研修も可能であるが、病院により治療法などに偏りがあると考えられる。この弊害を防ぐため、東京女子医科大学整形外科およびその関連施設での研修を適宜加え、先端医療を体験し、視野の広い整形外科医を目指す。これはサブスペシャリティーの確立にも役立つ。

評価

日本整形外科学会監修の整形外科卒後研修ガイドラインに沿い、年次毎に指導医が評価を行う。院外研修に際しては、研修先医療機関の指導者が評価に加わる。